

平成25年度 第4回市長タウンミーティング概要

と き：平成25年4月14日（日）
午後2時～3時30分
ところ：北町公民館
参加者：70人

○市長あいさつ

(市長より、平成25年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問(男性)

1点目は、市の借金返済についてです。返済スピードアップに向けて、具体的に年数を決め、計画を立てなければ、実行は難しいと考えますが、いかがですか。

2点目は、次世代を担う若者の意見を聞いてもらえる場を設ける事についてです。今回のタウンミーティングのような機会があっても、参加者のほとんどは高齢者です。次世代を担う若者の意見を聞いてもらえる場を設けられないでしょうか。

回答(市長)

1点目の借金の返済については、引き続き努力をしていきたいと思っておりますが、借金の中には必要な借金もあると考えています。

例えば、今年度で完了する学校施設の耐震化に係る総事業費約23億円は、国からの補助金や借金でまかっています。この借金は、10年後、20年後まで使う施設のために、皆さんに少しずつ負担していただくこととなりますので、意味のあるものだと考えられます。

一方、過去に土地開発公社で土地を買って、使う当てがなく、そのままになっているなど、問題の多い意味のない借金もあります。このようなものについては、早く減らしていかなければなりません。

財政規模に対して借金の割合を示す指数からすると、蕨の財政は健全ですが、現状としては借金総額がとて多いと感じていますので、今後も引き続き圧縮していきたいと考えています。

2点目の若い方にご意見をいただく場については、タウンミーティングでは託児の体制を整えています。それでも参加していただくのが難しいといった現状があります。そこで、タウンミーティングとは別に、各公民館で実施している未就園児を対象の子育て事業などに、私が参加させていただく機会を設けています。身近な声を聴かせていただくだけでなく、皆さんにも町会活動などへの参加をはじめとした、まちづくりへのご協力もお願いしています。

また、4月号の広報紙の表紙でも紹介していますが、市民公園の清掃を中心に活動している、蕨の学生ボランティアグループ「waravvicco」など、若い力も蕨のまちづくりに関わってくれています。他にも、国際青少年キャンプ経験者を中心に組織された「WICA」が市の国際交流事業に協力をするなど、一生懸命活動に取り組んでいる若者がいることをお伝えしたいと思います。

質問(女性)

最近、北町コミュニティ・センターに隣接する北町公園で、遅い時間まで遊んでいる子どもをよく目にします。公民館や体育館の講座の受講生が、空き時間に遊ぶのは仕方ありませんが、そうではない子には早く帰るように促したいと思っています。現状では、それぞれの区別がつかず、注意するのが難しいので、分かるように対応していただくことはできないでしょうか。遅く帰ることは非行の始まりです。ぜひ改善をお願いいたします。

回答(市長)

健全育成の面から見ても、夜遅くに子どもが出歩くことは問題ですので、家庭を中心とした指導が必要ですが、職員なども啓発に努めるようにしていきたいと思っています。

同時に子どもたちには居場所も必要ですので、参加できる事業や講座を積極的に開催していきたいと考えています。

質問(男性)

ここ数年、集中豪雨があると中央小学校の前の道路が冠水してしまいます。家や店に水が入らないように、土のうを積むこともある程です。集中豪雨が多いこともあり、心配しています。

回答(市長)

市内でも、集中豪雨による道路冠水が発生し、その件数が増加傾向にあるこ

とを把握しています。その理由は、道路や下水の環境が変わったのではなく、雨の降り方が変わったことによるものです。中央や北町地区の雨水は、下水管に流れた後、南町ポンプ場、緑川を経由して、荒川に放流されます。最も浸水被害の多い北町地区では、わらび公園地下に雨水調整池設置の工事を進めていますので、完成後、推移を見守っていくこととなります。

最近のような異常な降水量が続いた場合、道路の冠水をなくすのは困難です。抜本的な解決には、もうしばらく時間がかかるのではと考えています。将来的な目標となるのが、県の事業である緑川の拡幅ですが、これもなかなか進んでいないようです。ご不便をお掛けすることもあるかと思いますが、土のうなどを含め、可能な範囲でしっかりと対応していきたいと思っています。

質問(男性)

私の妻は、現在、戸田中央病院に受診していますが、他にも、専門的な治療の関係などで市外の大きな病院を利用している方も多くいると思います。せっかく、市内には蕨市立病院があるので、市民がより利用しやすい、充実した病院にしてほしいと思います。そうすれば、収益も上がると思います。また、併せて、病院の運営状況はどうなっているのか教えてください。

回答(市長)

病院の規模によって、それぞれ診療科の種類、あるいは専門外来の有無などがあると思います。市立病院では、地域の中核医療の拠点として、なによりも患者さんへの親身な対応に心がけ、対応できない専門治療などの場合には必要な病院をしっかりと紹介するようにしています。そうした専門的な大きな病院との役割分担や連携を図るとともに、医療の充実に努めていきたいと思っています。また、病院経営については、震災後に落ち込みはありましたが、現状は黒字に推移しており、今後も医師の確保に努めながら、更なる診療の充実に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。